



## マーケット・ウォッチ 2021年5月号

### 1. 先月の回顧と今後の相場見通し（要旨）

#### <先月の回顧>

##### ① 株式市場

日経平均株価は前月比▲366円下落（騰落率▲1.25%、月末終値 28,812円）。株価は高値警戒感に加え、3度目の緊急事態宣言を受け軟調に推移。主要国の株式は総じて堅調に推移したが、日本株式はワクチン接種の欧米に比べた大幅な遅れを嫌気。

##### ② 為替市場

米ドル円相場は円高ドル安で推移（騰落率▲1.28%、月末気配 1ドル 109円 29銭）。米国の景気回復期待は高いが、米経常赤字の拡大およびFRB（連邦準備制度理事会）の緩和姿勢継続による米長期金利の安定を背景に、円は対米ドルで上昇。

##### ③ 債券市場

日本10年国債利回りは前月比▲0.03%低下（月末値 0.09%）。米長期金利の低下に加え、日米と中国との関係悪化および緊急事態宣言による景気悪化を懸念して10年債利回りは低下。

#### <今後の相場見通し>

##### ① 株式市場

日経平均株価は一時的な軟調から持ち直す展開を予想。新型コロナの感染拡大およびワクチン接種の大幅な遅れからオリンピックの無観客開催さえ危ぶまれ、開催中止によるIOCへの違約金が懸念される状況。オリンピック開催（中止を含む）および開催方法の正式決定までは、株式市場は軟調地合いの展開を見込むが、正式決定以降は世界的な景気回復の恩恵を受け持ち直す展開を想定。

（今月の予想レンジ）日経平均株価 27,000～30,000円 NYダウ 32,500～35,000ドル

##### ② 為替市場

米ドル円相場は緩やかなドル高推移を予想。ドル円相場は米長期金利の水準により多少の上下はあるが、年初来で見た主要国通貨の強弱は「英ポンド>米ドル≧カナダドル>ユーロ>円」で、ワクチン接種の進捗と一致。当面はその傾向の継続を見込み、米ドル高円安基調の推移を想定。

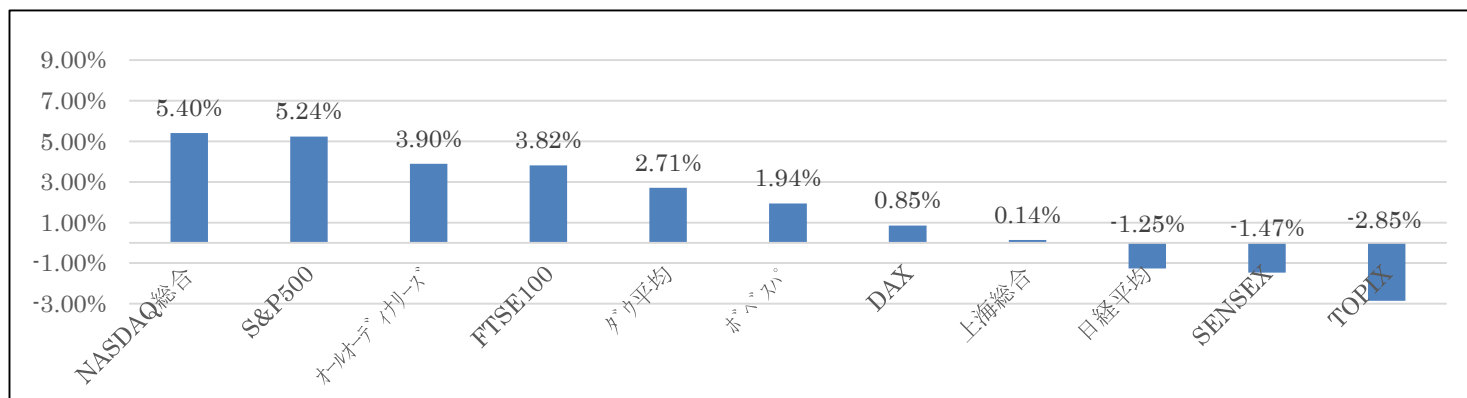
（今月の予想レンジ）米ドル円 108～112円 ユーロ円 130～133円

##### ③ 債券市場

日本10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。緊急事態宣言による景気悪化懸念から長期金利の安定推移を見込む。2021年度の物価見通しが、物価目標の2%に近づくところか、携帯電話通信料の値下げにより下方修正されるなど、金融緩和縮小を議論できない状況。

（今月の予想レンジ）日本10年国債利回り 0.06～0.10% 米国10年国債利回り 1.50～2.00%

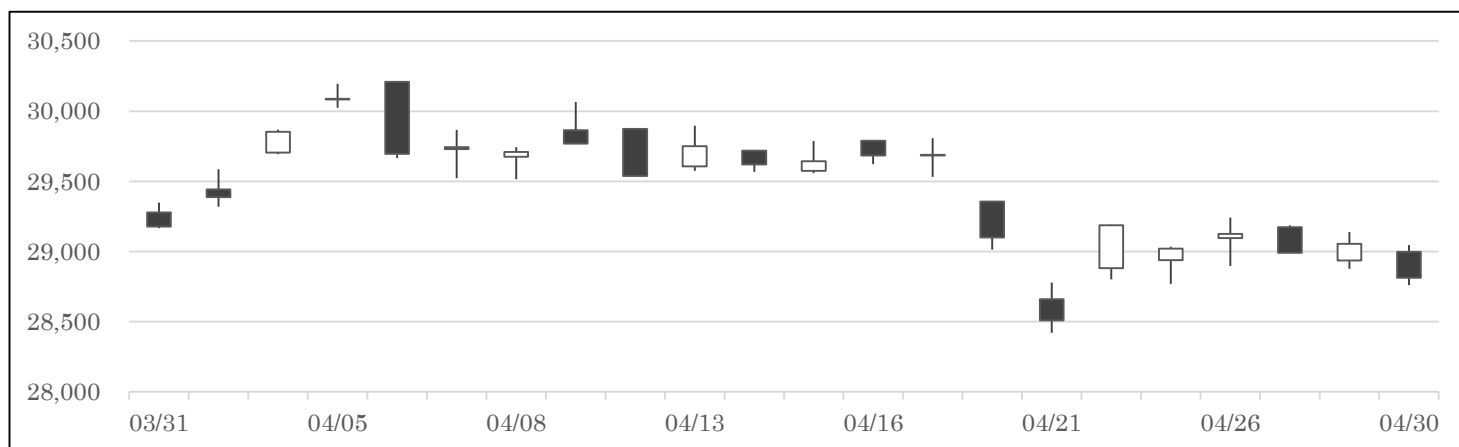
## 2. 株式 < 主要株式指標 前月騰落率 >



## < 主要株式指標 月末終値 >

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	NYダウインデックス	上海総合	ムンヘン	SENSEX
日本	日本	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ	イギリス	オーストラリア	中国	ブラジル	インド
28,812.63	1,898.24	33,874.85	4,181.17	13,962.681	15,135.91	6,969.81	7,290.7	3,446.8564	118,893.84	48,782.36

## < 日経平均株価推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーエム証券が作成

### < 先月の回顧 >

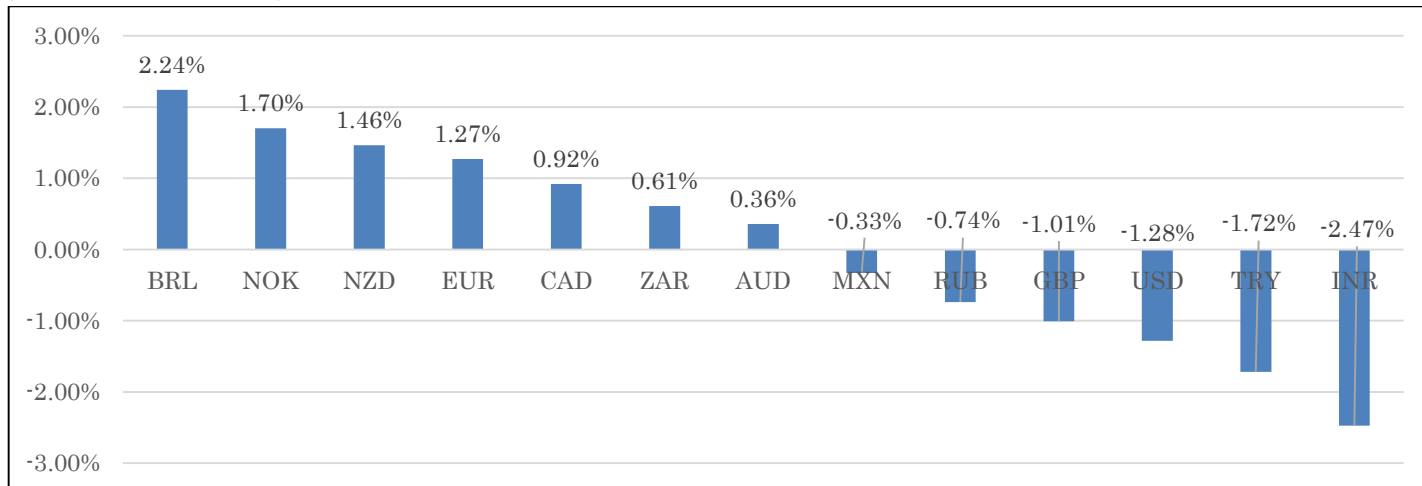
- ① 日経平均株価は前月比▲366 円下落 (騰落率▲1.25%、月末終値 28,812 円)。株価は高値警戒感に加え、3 度目の緊急事態宣言を受け軟調に推移。主要国の株式は総じて堅調に推移したが、日本株式はワクチン接種の欧米に比べた大幅な遅れを嫌気。
- ② NY ダウ (米国株式) は前月比+893 ドル上昇 (騰落率+2.71%、月末終値 33,874 ドル)。追加経済対策およびワクチン普及による景気回復期待が高まるなか、FRB (連邦準備制度理事会) の金融緩和姿勢継続による長期金利の安定から、株価は堅調に推移。

### < 今後の見通し >

- ① 日経平均株価は一時的な軟調から持ち直す展開を予想。新型コロナの感染拡大およびワクチン接種の大幅な遅れからオリンピックの無観客開催さえ危ぶまれ、開催中止による IOC への違約金が懸念される状況。オリンピック開催 (中止を含む) および開催方法の正式決定までは、株式市場は軟調地合いの展開を見込むが、正式決定以降は世界的な景気回復の恩恵を受け持ち直す展開を想定。
- ② 米国株式は堅調ながら上下に振れる展開を予想。米国はワクチン普及のペースが速く、銅先物が約 10 年ぶりに最高値更新するなど経済正常化を先取りする動きが顕著。金融相場から企業業績向上を織り込む業績相場への移行にあたり一時的な調整を経て、株式市場は上昇基調の維持を想定。

(今月の予想レンジ) 日経平均株価 27,000 ~ 30,000 円 NY ダウ 32,500 ~ 35,000 ドル

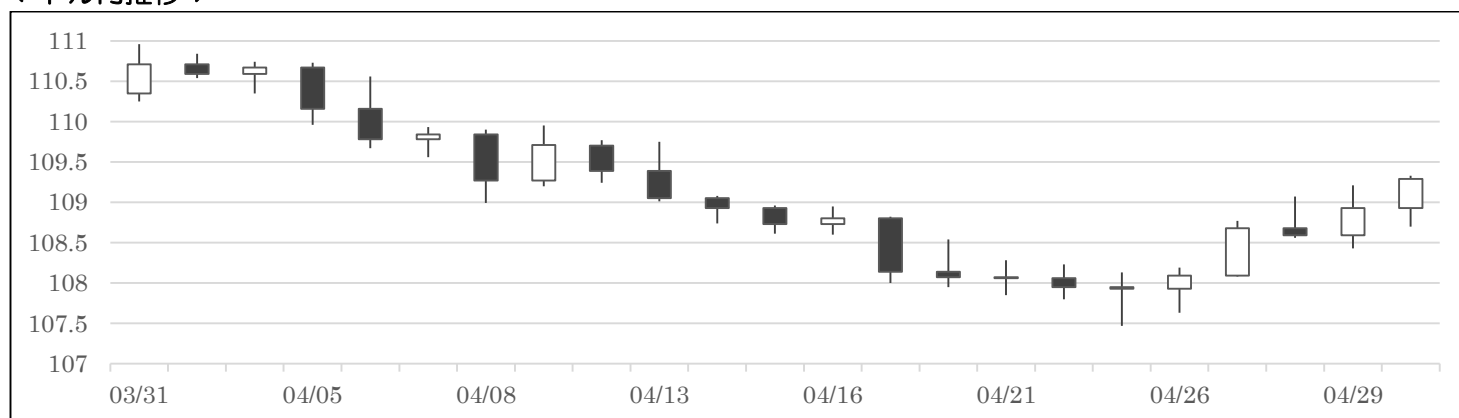
### 3. 外国為替 < 主要通貨対円 前月騰落率 >



### < 主要通貨対円 月末気配レート >

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
ドル	EU	イギリス	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド	ノルウェー	ブラジル	インド	メキシコ	ロシア	南アフリカ	トルコ
109.29	131.47	151.01	84.36	88.91	78.39	13.15	20.08	1.4749	5.3957	1.4521	7.5385	13.17

### < ドル円推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に 静銀ティーム証券が作成

### < 先月の回顧 >

- ① 米ドル円相場は円高ドル安で推移（騰落率▲1.28%、月末気配 1ドル 109円 29銭）。米国の景気回復期待は高いが、米経常赤字の拡大およびFRB（連邦準備制度理事会）の緩和姿勢継続による米長期金利の安定を背景に、円は対米ドルで上昇。
- ② ユーロ円相場はユーロ高円安で推移（騰落率+1.27%、月末気配 1ユーロ 131円 47銭）。米製薬会社とのワクチンの追加供給の合意から、EU域内の経済活動正常化への期待感が高まり、ユーロは対円で上昇。

### < 今後の見通し >

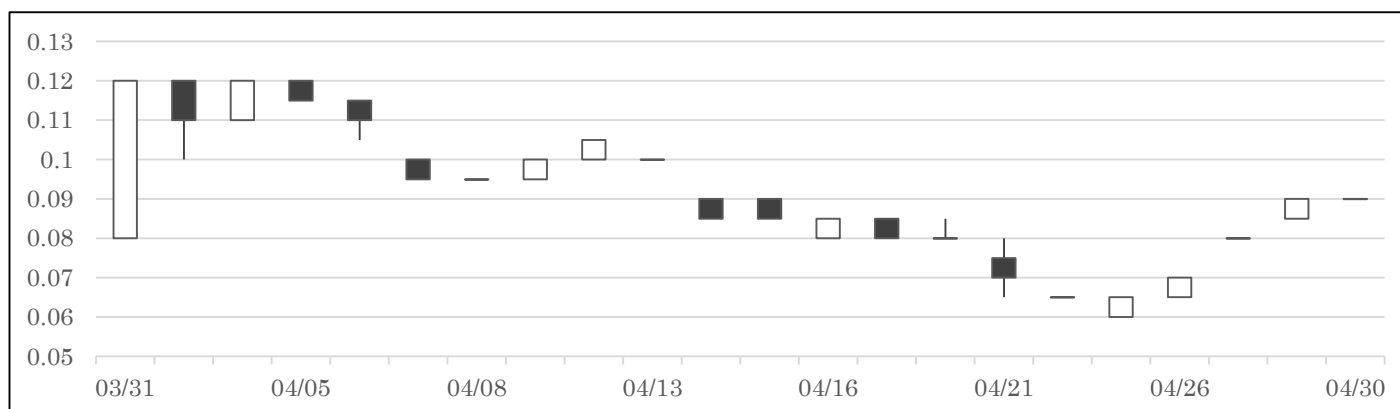
- ① 米ドル円相場は緩やかなドル高推移を予想。ドル円相場は米長期金利の水準により多少の上下はあるが、年初来で見た主要国通貨の強弱は「英ポンド>米ドル≧カナダドル>ユーロ>円」で、ワクチン接種の進捗と一致。当面はその傾向の継続を見込み、米ドル高円安基調の推移を想定。
- ② ユーロ円相場は緩やかなユーロ高推移を予想。ワクチン接種の進捗からフランスやイタリアでは段階的に行動制限を緩和し始めるなど、日本と比べた経済正常化の進展からユーロ高円安の継続を想定。

(今月の予想レンジ) 米ドル円 108 ~ 112円 ユーロ円 130 ~ 133円

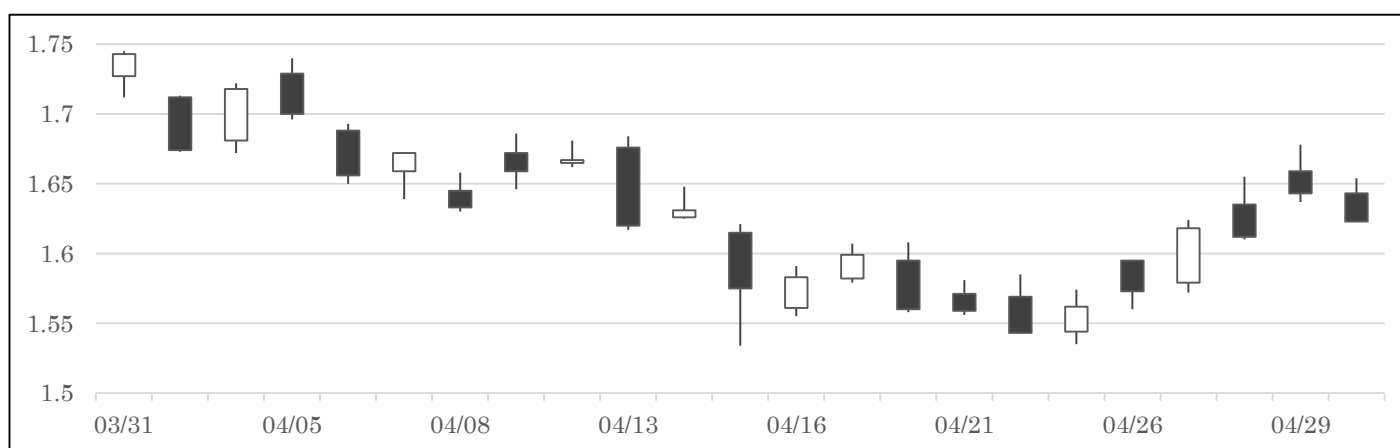
#### 4. 債券 < 10年国債利回り 前月騰落幅 >

	日本	アメリカ	ドイツ	イギリス	インド	ブラジル	メキシコ
10年国債利回り	0.09	1.623	-0.205	0.842	6.1965	8.877	6.63
前月騰落幅	-0.03	-0.12	0.089	-0.001	-0.126	-0.138	0.111

#### < 日本 10年国債利回り推移 >



#### < 米国 10年国債利回り推移 >



(出所)：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

#### < 先月の回顧 >

- ① 日本 10年国債利回りは、前月比▲0.03%低下（月末値 0.09%）。米長期金利の低下に加え、日米と中国との関係悪化および緊急事態宣言による景気悪化を懸念して 10年債利回りは低下。
- ② 米国 10年国債利回りは、前月比▲0.12%低下（月末値 1.623%）。米国では景気回復期待は高まっているが、4月27～28日のFOMC（連邦公開市場委員会）で早期の量的緩和縮小が明確に否定されたため、市場で織込んでいた早期利上げシナリオの修正により長期金利は低下。

#### < 今後の見通し >

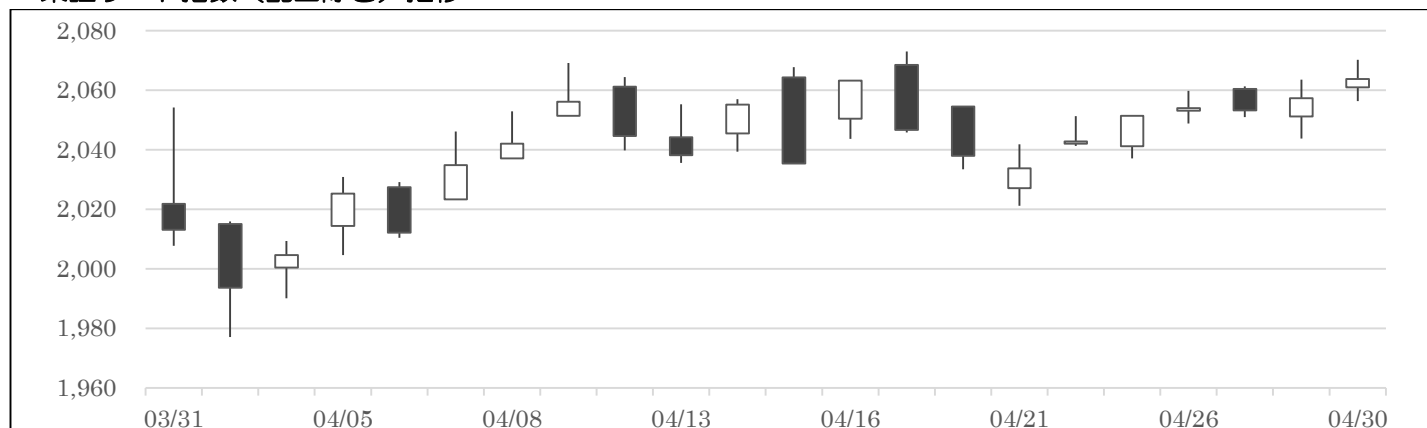
- ① 日本 10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。緊急事態宣言による景気悪化懸念から長期金利の安定推移を見込む。2021年度の物価見通しが、物価目標の2%に近づくどころか、携帯電話通信料の値下げにより下方修正されるなど、金融緩和縮小を議論できない状況。
- ② 米国 10年国債利回りは、徐々にレンジを切り上げる展開を予想。FRB（連邦準備制度理事会）は4月末の会合で長期金利の上昇を牽制したが、財政拡大およびワクチン普及による景気・企業収益の改善期待は大きく、想定より早いテーパリング（資産購入減額）議論の開始を想定。

（今月の予想レンジ）日本 10年国債利回り 0.06 ～ 0.10 % 米国 10年国債利回り 1.50 ～ 2.00 %

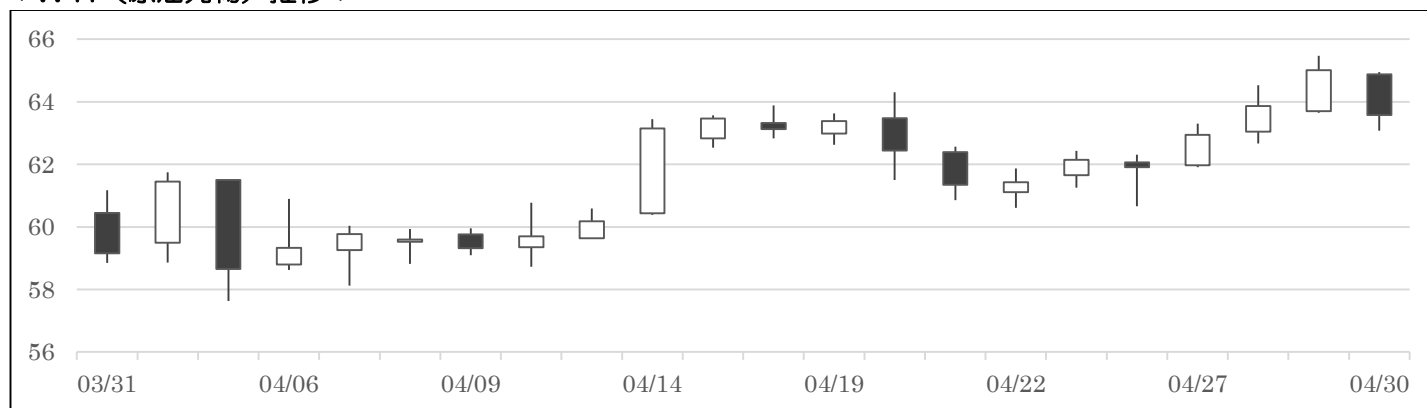
## 5. その他「リート、商品」〈月末気配値または終値及び前月騰落率〉

	リート（配当除き）			商品（米ドル建）	
	東証リート指数	S&P 米国リート指数	S&P 豪州リート指数	原油 WTI 先物	金 COMEX 先物
指数（配当除き）	2063.80	357.01	154.08	63.58	1767.70
前月騰落率	2.52%	7.89%	3.12%	7.47%	3.04%

### 〈東証リート指数（配当除き）推移〉



### 〈WTI（原油先物）推移〉



（出所）：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

### 〈先月の回顧〉

- ① Jリート（日本の不動産投資信託）市場の東証リート指数は、前月比+51 ポイント上昇（騰落率+2.52%、月末終値 2,063 ポイント）。月初はバイデン政権の「米国雇用計画」を好感し、リスク選好の動きからリート指数は上昇。その後、新型コロナ感染拡大による非常事態宣言再発令の動きからリート指数は上値の重い展開。
- ② WTI（原油先物）は、前月比+4.42 ドル上昇（騰落率+7.47%、月末終値 63.58 ドル）。米国の好調な経済指標およびワクチン接種の進捗から米国の原油在庫は減少傾向となるなか、OPEC の世界石油需要予想の上方修正を好感し、1 バレル 60 ドル台を回復。

### 〈今後の見通し〉

- ① 東証リート指数は、上値の重い展開を予想。2021 年 3 月の都心 5 区のオフィス空室率は 5.4%と 13 カ月連続で上昇、平均賃料は 8 カ月連続で下落となるなか、緊急事態宣言の再発令で不動産市場には不透明感が増大。リーートの株価対比での大きな出遅れ感および配当狙いの買いに支えられ、リート指数は横ばい圏推移を想定。
- ② WTI（原油先物）はレンジ内推移を予想。米ニューヨーク地下鉄の 24 時間営業再開など、ワクチン普及を受けた経済活動の制限緩和が動き始め、原油需要の回復期待は増加。原油価格が大幅に上昇した場合には協調減産縮小による価格調整を見込み、現状レベルでの推移を想定。

（今月の予想レンジ） J リート 1,950 ～ 2,150 ポイント      WTI 55 ～ 70 ドル

## 6. 2021年5月のスケジュール

日本		米国		その他	
13日	3月国際収支・貿易収支	7日	4月雇用統計	4日	豪準備銀行政策金利
18日	1-3月期四半期GDP	12日	4月消費者物価指数	5日	ブラジル中銀政策金利
20日	4月貿易統計	14日	4月小売売上高	6日	イングランド銀行金利発表
20日	3月機械受注	19日	FOMC 議事要旨	12日	英 1-3月期GDP
21日	4月消費者物価指数	25日	4月新築住宅販売件数	18日	ユーロ 1-3月期四半期域内GDP
31日	4月鉱工業生産	27日	1-3月期四半期実質GDP	19日	ユーロ 4月消費者物価指数
		28日	4月個人消費支出	25日	独 1-3月期GDP(改定値)

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ディーエム証券が作成

## 7. 事業所案内

支店名	住 所	電話番号	支店名	住 所	電話番号
<b>静 岡 県</b>					
本 社	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (アゴラ静岡4F)	0120-23-1184	浜松支店	〒430-0944 浜松市中区田町322番地の7 (アゴラ浜松2F)	053-458-7700
本店営業部	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (静岡銀行呉服町支店2F)	054-255-7511	掛川支店	〒436-0056 掛川市中央1丁目22番地の10 (静岡銀行掛川支店2F)	0537-22-0080
静岡駅南支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 (静銀・中京銀静岡駅南ビル2F)	054-282-5700	磐田支店	〒438-0073 磐田市二之宮東1番地1 (静岡銀行磐田支店2F)	0538-36-1411
清水支店	〒424-0812 静岡市清水区小芝町2番1号 (静岡銀行清水中央支店2F)	054-367-2000	浜松西支店	〒432-8061 浜松市西区入野町9784番地の1 (静岡銀行入野支店1F)	053-449-5500
藤枝支店	〒426-0034 藤枝市駅前1丁目6番4号 (静岡銀行藤枝駅支店2F)	054-645-2110	浜松北支店	〒433-8114 浜松市中区葵東1丁目5番2号 (静岡銀行葵町支店2F)	053-420-1851
島田支店	〒427-0022 島田市本通3丁目6番の2 (静岡銀行島田支店1F)	0547-34-5040	浜北中央支店	〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢318番地の1 (静岡銀行浜北支店2F)	053-586-7811
<b>神 奈 川 県</b>					
沼津支店	〒410-0055 沼津市高島本町1番地の1 (静岡銀行沼津駅北支店2F)	055-921-1811	横浜支店	〒220-0011 横浜市西区高島2丁目19番12号 (スカイビル22階)	045-548-4888
熱海支店	〒413-0013 熱海市銀座町14番8号 (静岡銀行熱海支店3F)	0557-83-5081	横浜支店 小田原営業所	〒250-0011 小田原市栄町1丁目1番15号 (ミナカ小田原3階)	0465-46-8113
三島支店	〒411-0838 三島市中田町10番29号 (静岡銀行三島支店2F)	055-972-9100	<b>山 梨 県</b>		
富士支店	〒417-0055 富士市永田町1丁目70番地 (静岡銀行富士中央支店2F)	0545-51-2211	山梨本店 (4月20日 オープン)	〒400-0031 甲府市丸の内1丁目20番8号 (山梨中央銀行本店2階)	055-244-7821

【作成】静銀ディーエム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### ● 投資信託にかかるご注意

#### ◆ お客様にご負担いただく費用

直接ご負担いただく費用 ・ 申込手数料 上限 3.85% (税込) ・ 信託財産留保額 上限 0.5%

間接的にご負担いただく費用 ・ 信託報酬 上限 2.42% (税込) ・ その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等

※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。

また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。

※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。

#### ◆ 投資信託のリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。

詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

### ● 上場有価証券等にかかるご注意

#### ◆ お客様にご負担いただく費用

上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。

- ・ 日本株式 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)
- ・ 新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)
- ・ 外国株式 約定代金に対して税込み最大 1.1%

#### ◆ 上場有価証券等のリスクについて

株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。

上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

### ● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

#### ◆ お客様にご負担いただく費用

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。

#### ◆ 債券のリスクについて

債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。

外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。

上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

# SHIZUGIN TM SECURITIES



**静岡ディーエム証券株式会社**

静岡市追手町1番13号(アゴラ静岡4階) 〒420-0853

TEL.(054)254-6111 FAX.(054)205-1925

URL <http://www.shizuginm.co.jp/>